

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	55	事業名	函館・みなみ北海道グルメパーク開催負担金		事業の性質別	義務的経費(一部裁量的経費)	区分			
予算事項名	大事項	函館・みなみ北海道グルメパーク開催負担金		中事項	函館・みなみ北海道グルメパーク開催負担金		部課名	観光部観光推進課		
事業開始年度	平成 23 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等(函館みなみ北海道グルメパーク実行委員会設置要綱)					電話番号	21-3499

1. 事業の目的・必要性和内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 北海道新幹線開業を間近に迎え、広域からの観光客誘致を図る。
	【必要性】 新幹線主要沿線地において、地域の魅力を発信し、開業を見据えた誘客促進を図る必要がある。
内容	道南、東北との連携のもと、新幹線沿線主要地である仙台市、さいたま市において、地域の食と観光の魅力をPRしている。 また、開催地元新聞社の協力により、出展者の食と地域の観光資源を掲載した折込紙を世帯に配布し、事前の告知と誘客促進を図っている。 【平成27年度開催】 ○開催日時:平成27年11月21日(土), 22日(日), 23日(祝月) 10:00~16:00 ○場所:仙台市勾当台公園 ○ブース予定数:45ブース

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		3,000	5,000	7,000	7,000	8,000	0
特定財源	国・道						
	市債			7,000	7,000	8,000	
	その他						
一般財源		3,000	5,000				
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっても0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.32 2,403	人工 0.32 2,310	人工 0.32 2,333	人工 0.32 2,333	人工 0.32 2,404	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	2,403	2,310	2,333	2,333	2,404	0
総事業費計(A+B)		5,403	7,310	9,333	9,333	10,404	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
来場者数	人	41,000	65,000	64,000	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指数はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	東北や首都圏のハブとなっている仙台市やさいたま市において、地元新聞社との連携のもとイベントを通じてPRすることにより、広く地元市民に北海道新幹線開業を周知できたものである。また、これまでは弱かった自治体連携も強化され、グルメサーカスに積極的に参加してくるなど交流も盛んになってきており、今後も様々な連携事業について協議することとなっている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	評価対象外	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	実行委員会形式で各団体からの人員によりイベント運営に努めているほか、特に、北海道新聞社からは開催地元新聞社との連携により、告知面で相当の協力を受けている。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	評価対象外	
				受益者負担の適正度	評価対象外	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	運営管理、出展者フォローについては受託業者が、出展要請や情報収集については行政が担うなど作業分担が確立されているとともに、スムーズに作業を進めるために情報共有も図っている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など		魅力あるイベントづくりやメディアを使った情報発信により、PR効果が非常に高いものである。開業前集中PRの位置付けのイベントであることから、平成27年度で終了となるが、今後新たな連携や誘客プロモーションについて協議する必要がある。				

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) この事業自体は平成27年度で終了であるが、今後、新たな連携や誘客プロモーションについて協議する必要がある。
	改善	(経費について) 新たなプロモーションを検討するうえでは、効果的な作り込みと経費の抑制を図る。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
-------------------------	--